

A person with short, dark hair is shown from the chest up, wearing a bright yellow turtleneck sweater. The person's eyes are closed or looking down. The word "teuto" is overlaid in white, lowercase, sans-serif font across the middle of the person's face. The background is dark and indistinct.

teuto



sonno

Take a chance project “Platform”

新鋭アーティスト2組の30分作品を連続上演します。

今、舞台芸術には、新しい方法論やアプローチ、人材、技術が持込まれ、今までにない多彩な表現が生まれています。ストリートダンス出身のtenとウォールペインター山口智美による‘時空を漂う’ユニット「sonno」。吉澤祐太の描くナンセンスな言葉と身体との関係を軸に、独自の演劇的表現を見出そうとする「teuto」。今回は、従来の振付家・演出家中心の作品創作ではなく、メンバーとのコラボレーションによる新たな身体表現を模索する2組をご紹介します。



AI-HALL

◆Take a chance project “Platform”とは? ……アイホールでは、2002年より関西を拠点とするパフォーマンスアーティストとの共同製作事業「Take a chance project」を実施しています。これは、ひとりのアーティストに対して1年に1作品、3回連続で新作を委嘱する企画です。この“Platform”は、今後、「Take a chance project」で共同製作を行うアーティストを発見するための場として、新しい才能にアイホールの空間での作品上演の機会を提供しています。

【Platform】＝(名)1 (駅の)プラットフォーム、ホーム 2 演壇、教壇、討論 (意見発表)の場 3 (人が働いたり見張ったりする)高い足場、(ヘリコプターなどの)発着場 4 (政党・候補者の)政綱、綱領 (NEW COLLEGE 新英和中辞典/KENKYUSHAより抜粋)

日時 | 2006年6月10日(土) 19:00 / 11日(日) 15:00

料金 | 前売2000円 当日2300円
学生&コース前売1500円 学生&コース当日1800円

*開場は開演の30分前。当日受付順に入場整理券を発行いたします。全席自由席。
*コース=25歳以下。受付にて学生証か年齢の分かる書類をご提示ください。
*未就学児童の入場はご遠慮ください。

会場・前売取扱・お問合せ |

アイホール (JR伊丹駅前)
〒664-0846 兵庫県伊丹市伊丹2-4-1
【TEL】072-782-2000 【FAX】072-782-8880
【HP】<http://www6.ocn.ne.jp/~aihall/>
【E-mail】aihall@juno.ocn.ne.jp



前売取扱 | JCDNダンスリザーブ <http://dance.jcdn.org/> (オンラインチケット予約サービス)

舞台技術統括/加藤陽一郎、演義則 ((株)エスエフシー) 宣伝美術/相模友士郎 制作担当/小倉由佳子 (アイホール) プロデュース/志賀玲子
■平成18年度文化庁芸術拠点形成事業 ■助成 財団法人地域創造 ■企画製作 アイホール ■主催 伊丹市/(財)伊丹市文化振興財団

sonno (TEN+山口智美) 『sole di mezzanotte』

作・演出・出演/TEN 美術・出演/山口智美 音楽・出演/小川真由子 照明/演義則 ((株)エスエフシー) 音響/加藤陽一郎 ((株)エスエフシー)

【sonno】
'03年結成。ストリートダンス出身のTENとwall paintingの山口智美によるユニット。ともに新潟県新井市(現妙高市)出身。'03年JCDN主催「踊りに行くぜ!」、'04年Dance Box Selection、'05年びわ湖ホールdance picnic、Dance Box one-dance出演。繊細でありながら躍動感溢れる線と動きが観る者を異空間へといざなう。近作では、パーカッション奏者の小川真由子との共演によりさらに表現の幅を広げている。

【TEN】
新潟県新井市出身。大阪音楽大学卒業。20才よりダンスを始める。ストリートダンスを中心に活躍。2001年より様々な表現のできる場と思い、コンテンポラリーダンスを始める。時空を漂う'sonno'、生で見る日常映画を目指す'fu-pe'を主宰し、創りたい世界とやりたい世界を次々とつくりだしている。一方で、倉木麻衣の全国LIVEツアーに振付・ダンサーで参加するなど、アーティストへのダンス指導、PV振付などもこなす。

【山口智美 tomomi yamaguchi】
新潟県新井市出身。大阪大学美学美術史学科卒。ロータリー財団奨学生としてイタリアFirenze大学文哲学科留学。Giorgio De Chiricoを研究。壁に絵を描いている。

【小川真由子 mayuko ogawa】
幼少の頃より音楽に親しむ。同志社女子大学学芸学部音楽科打楽器専攻卒業。98年デビューリサイタル開催。主に現代音楽と呼ばれる分野のレパトリーを持つ。内外の音楽祭や芸術祭に多数出演。第46回ミュンヘンARD国際音楽コンクール打楽器部門ファイナリスト。第16回日本管打楽器コンクールグランプリ受賞。中谷浩、山口尊範、吉原すみれの諸氏に師事する。演奏活動の傍ら、社会教護施設などでリズムワークを展開中。



Take a chance project "Platform"

新鋭アーティスト2組の30分作品を連続上演します。

今、舞台芸術には、新しい方法論やアプローチ、人材、技術が持込まれ、今までにない多彩な表現が生まれています。ストリートダンス出身のtenとウォールペインター山口智美による「時空を漂う」ユニット「sonno」。吉澤祐太の描くナンセンスな言葉と身体との関係を軸に、独自の演劇的表現を見出そうとする「teuto」。今回は、従来の振付家・演出家中心の作品創作ではなく、メンバーとのコラボレーションによる新たな身体表現を模索する2組をご紹介します。



AI-HALL

◆Take a chance project "Platform"とは？……アイホールでは、2002年より関西を拠点とするパフォーマンスアーティストとの共同製作事業「Take a chance project」を実施しています。これは、ひとりのアーティストに対して1年に1作品、3回連続で新作を委嘱する企画です。この「Platform」は、今後、「Take a chance project」で共同製作を行うアーティストを発見するための場として、新しい才能にアイホールの空間での作品上演の機会を提供しています。

【Platform】＝「名」1（駅の）プラットフォーム、ホーム 2 演壇、教壇、講義、討論（意見発表）の場 3（人が仰いせり見張ったりする）高い足場、（ヘリコプターなどの）発着場 4（政党・候補者の）政綱、綱領
【NEW COLLEGE 新英和中辞典/KENKYUSHAより抜粋】

| 日時 | 2006年6月10日(土) 19:00 / 11日(日) 15:00

| 料金 | 前売2000円 当日2300円
学生&ユース前売1500円 学生&ユース当日1800円

*開場は開演の30分前。当日受付順に入場整理券を発行いたします。全席自由席。
*ユース＝25歳以下。受付にて学生証が年齢の分かる書類をご提示ください。
*未就学児童の入場はご遠慮ください。

| 会場・前売取扱・お問合せ |

アイホール (JR伊丹駅前)
〒664-0846 兵庫県伊丹市伊丹2-4-1
【TEL】072-782-2000 【FAX】072-782-8880
【HP】<http://www6.ocn.ne.jp/~aihall/>
【E-mail】aihall@juno.ocn.ne.jp



| 前売取扱 | JCDNダンスリザーブ <http://dance.jcdn.org/> (オンラインチケット予約サービス)

舞台技術統括/加藤陽一郎、澳義則 [(株)エスエフシー] 宣伝美術/相模友士郎 制作担当/小倉由佳子 (アイホール) プロデュース/志賀玲子
■平成18年度文化庁芸術拠点形成事業 ■助成 財団法人地域創造 ■企画製作 アイホール ■主催 伊丹市/(財)伊丹市文化振興財団

teuto vol.4 『ソーゲー』

作/吉澤祐太 振付/芦谷康介 演出・美術/杉原邦生 出演/芦谷康介 京極朋彦 黒田政秀 小須田依里 相模友士郎 堤恵子 舟木理恵
音響/加藤陽一郎 [(株)エスエフシー] 照明/青山愛 照明助手/村上五月 衣裳/山本容子 舞台/米谷有理子 演出助手/富松悠 制作/土屋和歌子

【teuto】
ナンセンスな言葉と俳優の身体との関係性を軸に、それらが混交する場としての劇空間づくりを実験的に行っている。2002年、京都造形芸術大学映像・舞台芸術学科第2期生により結成。現在、吉澤祐太・杉原邦生・仁科正之の3名で活動。過去の上演作品に、vol.1『ローデュー』(02年4月京都芸術劇場studio21)、vol.2『アドア』(03年6月京都芸術劇場 春秋座)、vol.3『マンダラ』(05年9月京都芸術劇場studio21)がある。

【吉澤祐太 yuta yoshizawa】
京都造形芸術大学 映像・舞台芸術学科2期卒業生。言葉の反復と広がり軸にして、物語の中の言葉だけではなく、言葉そのものを意識した執筆作品を発表してきた。これまでのteuto全作品を執筆。2005年卒業制作『HAPPY?』の戯曲で学長賞を受賞。

【芦谷康介 kosuke ashiya】
京都造形芸術大学 映像・舞台芸術学科2期卒業生。在学中より、表現の可能性を模索し、様々な公演に取り組む。主な出演作品に『聞こえる、あなた?—fuga#3』(作・演出:太田省吾)、teuto作品ではvol.2『アドア』、vol.3『マンダラ』など。また、絵も描いていて二科展に出品。

【杉原邦生 kunio sugihara】
京都造形芸術大学 映像・舞台芸術学科在籍中より、演出・舞台美術を中心に活動。teutoではvol.2『アドア』、vol.3『マンダラ』で演出を担当。その他の主な作品に、03年9月M☆3『広辞苑の使い方』(作:吉澤祐太)、04年6月KUNIO01『ペリカン家の人々』(作:ラティゲ)、06年5月木ノ下歌舞伎『yotsuya-kaidan』(作:鶴屋南北)など。KUNIO01『ペリカン家の人々』、teuto vol.3『マンダラ』はそれぞれ京都芸術センター舞台芸術賞2004・同賞2005にノミネート。05年より、京都造形芸術大学大学院 芸術研究科 修士課程 芸術表現専攻に在籍。

